

【汚水処理施設整備等に関する県構想】

いわて汚水処理ビジョン2017を策定しました！

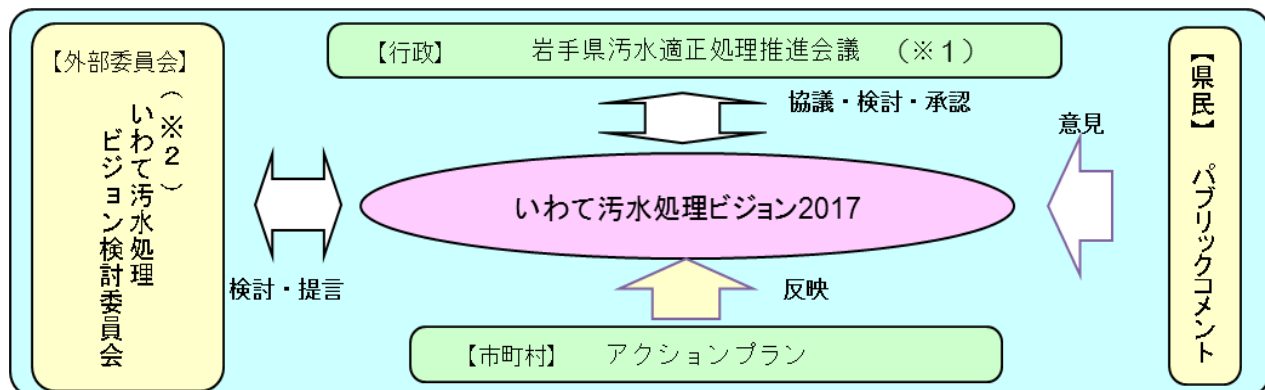
～快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現に向けて～

下水環境課

県では、汚水処理施設の整備等に関する新たな県構想「いわて汚水処理ビジョン2017」を2018年1月に策定しました。これは、従来の県構想「いわて汚水処理ビジョン2010」の次期計画にあたるもので、計画期間は2018年から2025年までの8年間を設定しています。

今後はこの「いわて汚水処理ビジョン2017」により、汚水処理事業を進めていきますが、ここではその内容を簡単に紹介します。

【いわて汚水処理ビジョン2017の策定体制】



※1 岩手県汚水適正処理推進会議

汚水処理施設の整備と維持管理の施策を、総合的・効率的に推進することを目的として、平成15年3月に設置した会議であり、県関係部課と市町村により構成されているもの。

※2 いわて汚水処理ビジョン検討委員会

次期県構想について、汚水処理に関連する多様な意見をいただくことを目的とした外部委員会で、6名で構成。

【委員の構成】

環境衛生・水環境、会計、公営企業経営、環境・地域活動、地方財政、行政（市町村）

【いわて汚水処理ビジョン2017の取組項目とポイント】

「いわて汚水処理ビジョン2017」では、以下の5つの取組項目を設定しています。いずれもこれからの汚水処理事業を考えていくうえで重要な項目ですが、特にポイントとなるのが、「汚水処理施設の早期整備」、「持続可能な汚水処理事業の運営」です。（2項目の概要を次ページでご紹介します）

【取組項目】

1. 汚水処理施設の整備 ← **POINT**
2. 資源・エネルギーの利活用 ← **POINT**
3. 汚水処理施設の運営（経営・維持管理・災害対策）
4. 雨水対策
5. 広報活動・普及啓発



平成30年1月
岩手県

ビジョン2017の詳細は岩手県ホームページをご覧ください

【 汚水処理施設の早期整備に向けた取組】

現状

汚水処理人口普及率が2016年度末時点で全国平均90.4%に対し、岩手県は79.8%で全国34位。

計画・目標

2025年度における汚水処理人口普及率の目標を**91%**とする。（現状から約**11ポイントアップ**）

岩手県の現状と計画の実現性及び全国との比較（全国で中位を目指す）を踏まえ検討して目標値を設定。

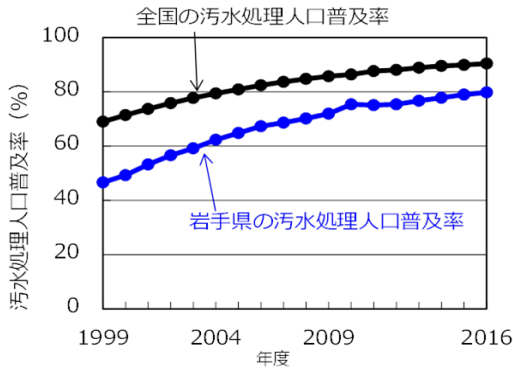


図1 汚水処理人口普及率の推移

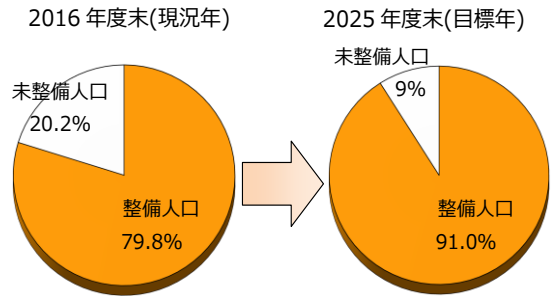


図2 汚水処理人口普及率の目標値

【 持続的な汚水処理の運営を目指すための取組】

現状

維持管理費と資本費からなる支出分を、使用料収入で賄えておらず、厳しい経営状況である。

計画・目標

- ① 経営状況の見える化を進めるため、汚水処理事業への公営企業法を推進。
- ② 施設の維持管理費や更新費用低減のため、施設の統廃合を推進。

- ・ 経営状況等については、見通しを明らかにするだけでなく、積極的に地域住民等に公開。
- ・ 汚水処理施設の健全経営のため、より効率的な施設計画を推進。

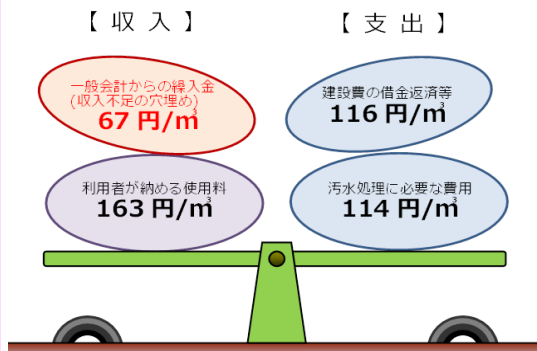


図3 県内の汚水処理施設運営の状況

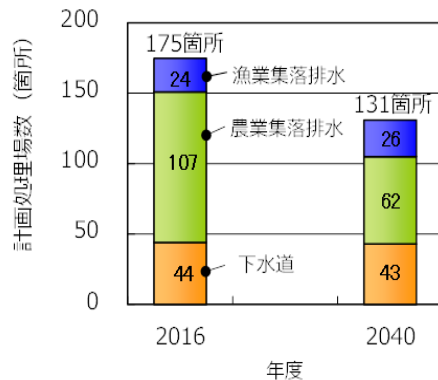


図4 将来の施設統廃合の見込み

社会情勢の変化や厳しい汚水処理施設の経営状況など、汚水処理事業を取り巻く状況は今後さらに厳しくなると予想されます。

「いわて汚水処理ビジョン2017」の取組目標の達成が、より多くの県民の皆様にご快適で豊かな生活環境を提供することにつながるため、県では、今後も市町村及び関係団体の皆様と協力しながら、「いわて汚水処理ビジョン2017」をもとにした汚水処理事業の推進に努めていきます。